

普及現地情報

発信年月日:令和6年(2024年)9月25日

所属名:湖東農産普及課

番号:F24014

発信者名:宇野、川村^智、堤



JA 東びわこイチゴ部会が栽培研修会を開催

9月10日、JA 東びわこイチゴ部会において、定植前後の管理に関する栽培研修会が開催され、部会員 16名と関係者6名が参加しました。

イチゴ栽培の収益向上に向けては、販売単価の高い年内収量を確保することが重要であり、そのためには 9 月に本ほ定植することや、定植後の栽培管理を徹底することが求められます。そこで、当課から「章姫」と「みおしずく」の品種に応じた定植前後の基本的な栽培管理について説明しました。

「章姫」では、花芽分化後に適期に定植できるよう、当課が花芽分化を確認しました。また、定植後の管理については、初期生育の確保に重要となる定植後の培養液管理やハウス内の温度管理に加え、ハダニ類や炭疽病等病虫害防除の徹底を指導しました。

「みおしずく」でも花芽分化後の定植を呼びかけたほか、R5 年産から問題となっている乱形果や芯どまりの対策、定植前の培地の除塩、定植後の少量多かん水による活着の促進、摘葉による通風と採光の確保等について啓発しました。また、R6 年産の市場出荷への誘導と併せ、R7 年産の栽培に向けて推進を行いました。参加者からは早期に苗数を確保する方法等多くの質問が出され、関心の高さが伺えました。

今後も、関係機関と連携し、「みおしずく」をはじめとするイチゴの安定生産と生産拡大に向けて、支援していきます。



「みおしずく」の栽培管理を聞くイチゴ部会員